

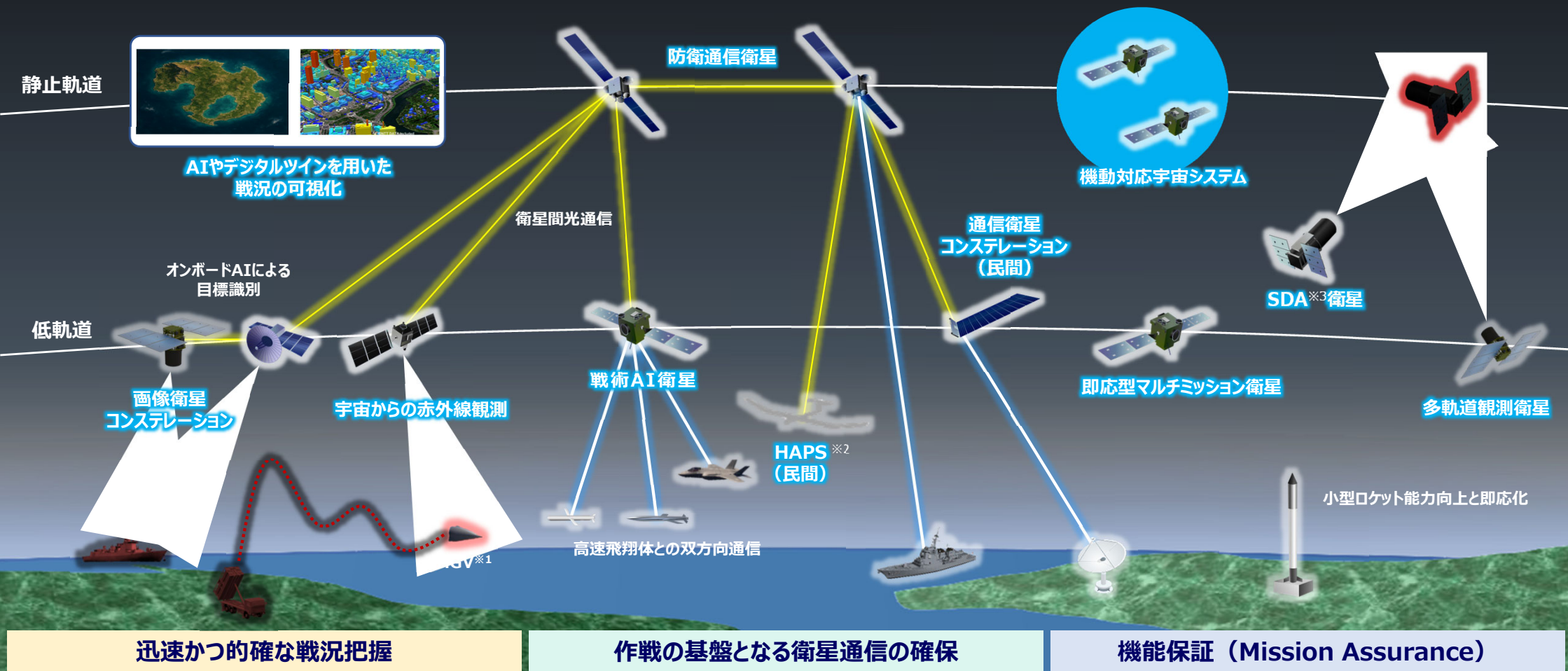
防衛省の宇宙交通管理に関する取組について

令和8年3月
防衛省

宇宙領域における防衛能力強化

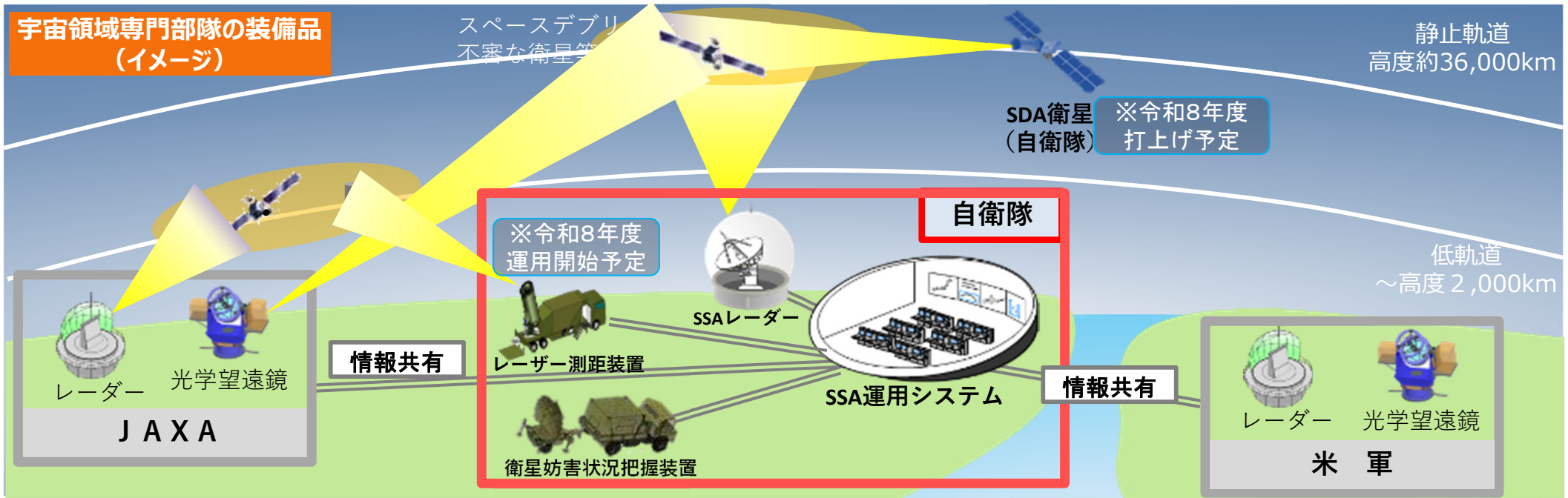
宇宙領域における防衛能力を強化することで、陸海空自衛隊のオールドメインでの防衛能力を増幅

1. 宇宙空間から目標情報のリアルタイム探知・追尾により、事態の兆候の早期把握や、**迅速かつ的確な戦況把握**
2. 通信能力や抗たん性の向上により、**各種作戦の基盤となる衛星通信を確保**
3. 脅威の早期探知やその意図・能力の把握、衛星を防護する能力等の構築により、**機能保証 (Mission Assurance)**
4. 宇宙空間における脅威とリスクが拡大する中、**相手方の指揮統制・情報通信等を妨げる**能力を更に強化



※1 HGV: Hypersonic Glide Vehicle ※2 HAPS: High Altitude Platform Stations ※3 SDA: Space Domain Awareness

防衛省・自衛隊の宇宙領域把握（SDA）体制



年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
体制整備	宇宙作戦隊 新編 約20名	宇宙作戦群 新編 約70名	宇宙作戦群 改編 約120名	宇宙作戦群 改編 約200名	宇宙作戦群 改編 約310名	宇宙作戦団 新編 約670名	宇宙作戦集団 (仮称)新編 約880名
				●SSA運用システム運用 (R5.3)	●衛星妨害状況把握装置運用 (R6.3)	●SSAレーダー運用 (R7.3)	●SDA衛星打上予定 ●レーザー測距装置運用予定
				SDA任務開始 (R5.3)			

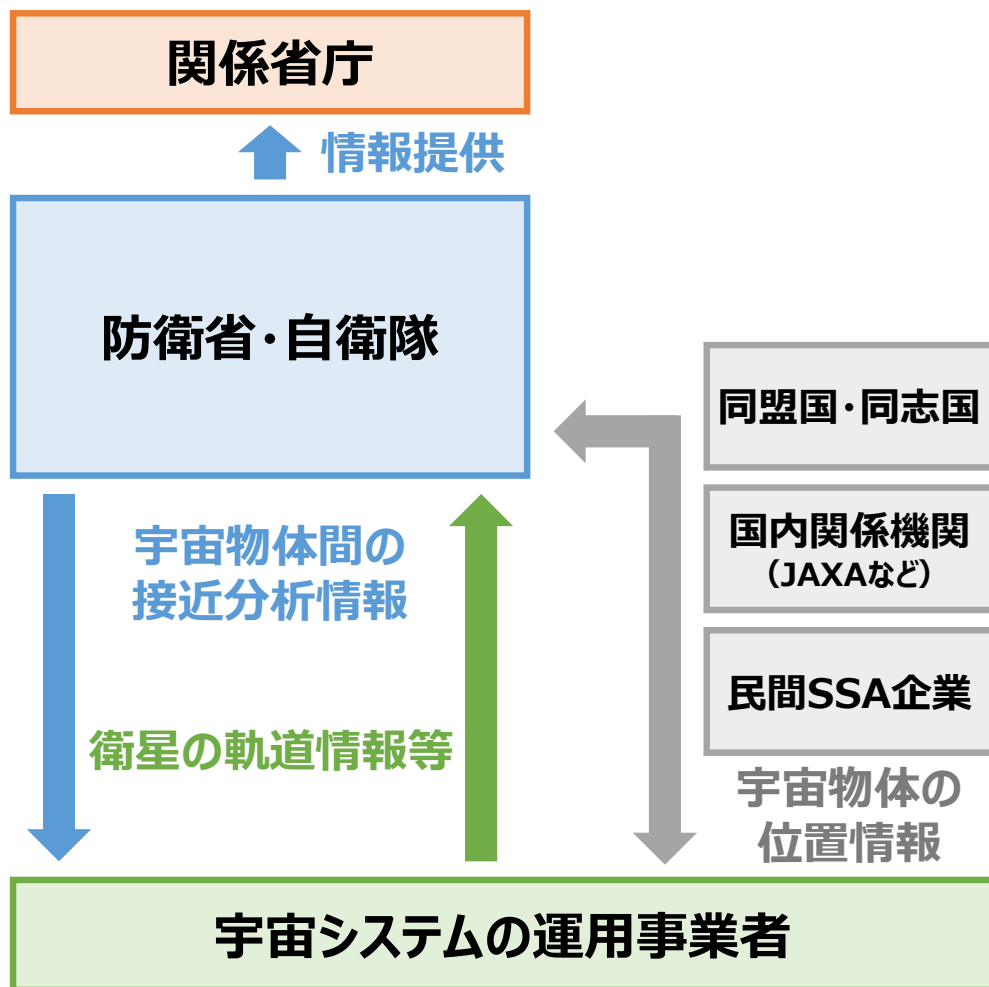
宇宙領域に係る体制を
急速に強化

※ 宇宙状況把握 (SSA: Space Situational Awareness) : 宇宙物体の位置や軌道等を把握すること
 宇宙領域把握 (SDA: Space Domain Awareness) : SSAに加え、宇宙機の運用・利用状況及びその意図や能力を把握すること

宇宙システムの運用事業者等に対するSSA情報提供

- 防衛省・自衛隊は令和5年3月より、SSA情報の集約、処理、共有等を行う**SSAシステムの本格運用を開始**。
- SSAシステムの運用開始に併せ、**防衛省・自衛隊から宇宙システムの運用事業者に対し、宇宙物体の接近分析情報等に関するSSA情報の提供を開始**し、我が国の人工衛星の安定的な運用の確保に貢献。
- また、**宇宙システムに不測事態が生じた場合には、関係省庁に対しても速やかに情報提供を実施**。

<SSA情報提供の例>



宇宙システムの運用事業者

- ・株式会社アストロスケール
- ・株式会社QPS研究所
- ・株式会社Synspective
- ・株式会社パスコ
- ・株式会社放送衛星システム (B-SAT)
- ・スカパーJ-SAT株式会社
- ・日本電気株式会社 (NEC) ほか